

四国八十八所参拝（伊予）

春のお遍路は愛媛（伊予）を廻ります。新規のご参加もお待ちしています。

記

期間 四月十六日～十八日

札所 四一番から六五番

宿泊 一泊目 仙遊寺

二泊目 遍路宿

（長珍屋の予定）

会費 四万三千元（十五名）

（人数によって減額します）

（最大定員 二十五名迄）

十日前の四月六日までにお申

し込みをしてください。前回参

加の方を優先しますが、今回か

らの方も歓迎です。万一定員を

超えた場合は次回秋の第一番優

先になります。

真言宗の基礎知識（その三十五）

（弘法大師）

弘法大師の真言宗と伝教大師の天台宗では光明真言を唱えるなどお経や作法が似ています。天台宗の比叡山からはいろいろな宗派が分かれていきました。が、真言宗ではお大師さまがあまりにすべてを完璧に仕上げられたため、お大師様を越える人が現れていません。

その結果真言宗はよい意味では昔の伝統を大切に今日まで守ってこれたのですが、一面お念仏や法華のような大衆を巻き込んだ鎌倉仏教の躍動的な新しい宗教の誕生もありませんでした。

しかし、高野山のお寺でも法然さまや親鸞さまを慕う人が集まり、念仏講ができ、阿弥陀如来への信仰が高まった時期があります。高野山奥の院には、歴代お大名のお墓に交じり、法然さまや親鸞さまのお墓もあり、いまでもそのお墓へ大勢の方がお参りをされています。

ずっと昔から、天下の霊場として高野山は宗派を問わず参詣の人をお迎えをして来ましたが、いろいろな要素を含み、変遷しながら今日に歴史は引き継がれているのです。

お寺の整備状況について

上之坊横門の造営については十一月の総代会にて第二案の二層構造の様式に決定をいたしました。金額八百八十万円のより安価な計画のものであります。施工業者は大森工務店で、期間は未定です。又、先の横門の木材の一部利用予定です。

この他は本堂横に合祀する納骨堂の計画が進んでおり、一月中に業者が決定をいたします。また、ユギ塔は基礎および躯体工事が完了し、春にかけて工事が進みそうです。

今回はこれらの工事へのご寄附はお願いをせず、門前の遊休地の利用ができるならばそのときに検討をしたいと存じます。

高野山の団参

今年は五月十四～五日で参拝します。詳細は四月初旬から電話にてお問い合わせください。

上之坊だより

平成31年1月17日
第82号
福山市大門町大門325
電話 (084) 941-1031
fax (084) 941-1168



弘法大師聖語抄

加持と者。古は仏所護念と云う。加は往来渉入を以て名とし、持は撰而不散を以て義を立つ。

『加持という言葉は昔から仏さまの護り念じたまう事と言っていた。加持の加は仏さまと私達が互に行き来をし交渉する事、持はそれを集めて離さない事を言う』とお大師さまはお書きになられています。

真言密教で仏さまを拝む作法に、入我我入（にゆうががにゆう）という觀念がありますが、これは仏さまと自分が一体となることで、仏さまの功德がすべて私に備わり、私の姿がその

まま仏さまと重なり、意識が虚空いつぱいに広がり、大きな存在とひとつになるよう念じます。すると、自分の力だけではできない事が不思議に出来てしまう、人知を超えた何かが起こり、自分の生き方を変えていきます。

しかしよく考えれば、毎日自分がこうやって生き続けていること自体が大変奇跡的な事であり、大きな力を「加え」て「持ち」続けている何よりの証（あかし）であるように思えます。

月例薬師護摩供（祈願）法会のご案内

平成三十一年一月より、毎月第四土曜日の午後一時半から上之坊本堂にて「薬師護摩供（祈願）法会」を実施いたします。上之坊のご本尊である薬師如来は、病気を鎮めて寿命を延ばしたり、災難を払い悩みを解決するなど、現世の心身の平安にご利益のある仏様で、護摩祈願とは火で木をたいて災難や迷いを焼き尽くし、幸福をもたらすお勤めです。本堂の内陣にて貴重なお勤めを間近で体験していただき、受者の方の無病息災を祈願したいと思えます。

法会にはどなたでもご参加いただけますが、限られた場所と時間です。お申込の方は毎回十人程度を予定しています。人数把握のため、事前にお問い合わせをお願いします。

特別ご祈願の祈願料は大札は一人五千円で、小札は一人三千五百円です。開催日は、一月は一月二十六日、二月は二月二十三日、三月は三月二十三日です。御祈願をご希望の方は先着順です。前日までにご予約をお願いします。節分の星祭りより少人数でお勤めをいたしますので、特に厄年の方はご自分の誕生月などにお申し込みをされると良いでしょう。（多少月が前後されても構いません。）

今年の厄年は男性は昭和五十三年生まれ、女性は昭和六十二年生まれで、男女ともに昭和三十四年生まれの方の方です。詳しくは電話でお問い合わせください。

上之坊だより

平成三十一年一月

土砂加持お供えご芳名

ありがとうございました。

ご寄附をいただきました

厄除け星祭り 二月二日（土曜）午後一時半より

平成三十一年行事予定

人に良い年と悪い年があるのは、その人が持つて生まれた星とめぐり来る星との位置と関係によって起こると言われています。

星祭りとは年の節目である節分の頃に、その年の当たりの星を奉って、悪い位置の星の人には悪事や災難を免れるように、また良い位置の星の人には一層良くなるようにと祈る行事で、真言宗では千三百年を越える昔から続いている行事です。

上之坊では二月二日（土）午後一時半より護摩（ごま）をたき、節分の厄除けの祈願をいたします。当日は豆まきや福引も予定しておりますので、ご家族やお知り合いなど、お誘いあわせてのお参りをお待ちしております。なお「おふだ」もご希望の方は前日までに申し込みください。お一人につき三百円です。

また、特に大きなおふだをご希望の方には七百円の金札千五百円の小木札 三千円の大木札の三種類があります。詳しくは別紙をご覧ください。

今年の厄年は、数え年で、男性は平成七年生まれの二十五歳 昭和五十三年生まれの四十二歳 昭和三十四年生まれ六十一歳と、女性は平成十三年生まれの十九歳 昭和六十二年生まれの三十三歳 昭和三十四年生まれ六十一歳です。特に男性の四十二歳と女性の三十三歳は大厄と言います。その前後の年を前厄後厄と言います。厄年の方は毎月護摩祈願も行っておりますのでこちらもご利用ください。

上

ありがとうございます

大門口中谷地区の総代変更
総代の枝広道光氏が逝去されましたので、その後任として、同地区の小林清隆氏が総代にご就任されました。枝広道光氏には長年のお勤め大変ありがとうございました。

二月	二日	厄除星祭り
三月	十六日	彼岸 勤め
三月	二日	（六日間）
四月	十六日	四国巡拝
五月	十八日	（三日間）
五月	十日	真明寺例祭
五月	十四日	高野山参拝
五月	十五日	（二日間）
七月	十三日	施餓鬼法会
七月	三十一日	お盆 勤め
七月	十五日	（十六日間）
九月	二日	彼岸 勤め
九月	二日	（四日間）
十一月	九日	土砂 加持
十一月	十二日	四国巡拝
十二月	十四日	（三日間）
十二月	三十一日	除夜 の鐘

●毎月第四土曜 護摩祈願